

# 新河岸川あたり(上流)から

広報室 224-5495

小江戸川越検定の設問からテーマを選びまちの魅力を紹介します。

設問 高沢橋あたりの新河岸川の別名は？

- ① 荒川
- ② 越辺川
- ③ 小畔川
- ④ 赤間川

新河岸川は、上野田町を起点に市街地を半円を描くように流れます。下流へ向う途中、川の旧名を橋の親柱に発見しました。赤間川公園付近は、川岸の石畳や対岸に渡ることができ

る飛び石が整備され、車を気にせず安心して散策できます。



伊佐沼堰



整備された川岸 (赤間川公園付近)



起点

シラサギが、飛び立ちました。

の橋には、旧赤間川と書かれていました。川沿いを東に向って進むと、地元で「めがね橋」と呼ばれている三連のアーチ形をした伊佐沼堰を発見。羽を休めていた

く伸びた葉が、麦の葉に似ているところから付けられました。

この花畑は、もともと休耕田となつて荒れてしまっていた田んぼに、環境保全を兼ねて平成17年からムギナデシコの花を植えたのが始まりです。花畑には、散策コースが整備され、散歩をしたり、写真を撮ったりして楽しむことができます。

「ご高齢の方や子ども連れの夫婦が、仲良く見学に来られます。楽しそうな笑顔を見るたびに、続けてきてよかったと思います」と話すのは、下小坂北谷水田環境保全組合組合長の岡部

みつあ 光夫さん(64歳)。

初夏の空の下、田んぼ一面に咲くムギナデシコの花を見に出かけませんか。



辺り一面、薄紫色のじゅうたんのよう



## ムギナデシコ

川越市北部に位置する下小坂地区の田んぼでは、5月中旬から下旬にかけて、一面に咲き誇る薄紫色のムギナデシコの花が迎えてくれます。この花の形は、星のよう



花の形は、星のよう

編集後記

## びんびり

新たなスタートの4月からひと月が経ちました。進学や就職など、身の回りの環境が変わった人は、知らず知らずに疲れがたまっているころかもしれません。心や体の変調のサインは、自分ではなかなか気がつかないもの。周りの人の「気づき」が大切です。

新学期、満開の桜の下をピカピカのランドセルを背負った一年生が通い始めました。歩幅が広い上級生に遅れまいと一生懸命についていく一年生。そのことに気づき、さりげなく歩くペースを緩める上級生。通学路では、先生や保護者だけではなく、地域の人も子供たちを見守り、声を掛けます。朝の通学路には、元気な挨拶があふれます。

しばらくして学校を訪ねると、学校生活に慣れてきた一年生が、楽しそうに遊んでいました。見守られてひと月。桜に代わり、校庭には子供たちの笑顔が満開でした。

